# ルビオ ウッドクリーム

ワックスベースで、自浄作用を兼ね備えた伸びの良い屋外用疎水性クリーム塗料

ウッドクリームはワックスをベースとした木材の呼吸が可能な疎水性クリームで、木材を着色および保護し、撥水性を与えます。ウッドクリームの疎水技術と独自のクリーム構造の組み合わせにより、製品の性能と塗布量の両方に大きなメリットがもたらされます。湿度を調整するクリームは、撥水性および自浄作用を備えています。また、長期密着技術により、クリームが木材の気孔を覆うことなく内部に完全に吸収されるため、木材本来の湿度のバランスや構造が保たれます。

ウッドクリームをお使いいただくことで木材表面を半透明やオールド風に仕上げる、または木材の色を隠すことができます。
無着色仕上げ用（トランスペアレント）もあり、このタイプは紫外線を除去しないため、木材を保護し撥水性を与えながら自然に経年変化をもたらします。また、古材の保護にもお使いいただけます。
色の継続効果は、お選びのカラーや木材の種類によって異なりますが、およそ5～10年です。5年ほど経過するとパール（水をビーズ状にはじく）撥水効果が徐々に低下します。

ウッドクリームの製品自体の色の強さを和らげる（濃さを薄くする）には、ウッドクリームソフナーで希釈してください。

**注意**
ウッドクリームソフナーを加えると、製品の耐紫外線性が低下します。これにより、早期に退色が起こる場合があります。この退色作用は、ウッドクリームソフナーの添加量によって異なります。

## 製品情報

### › 独自の特徴

- ワックスをベースとしたクリーム
- 疎水性クリーム
- 環境を配慮
- VOC（揮発性有機化合物）を含まない
- 膜を形成しないため剥がれない
- パール効果による撥水性と自浄能力
  - 木材表面の汚れはパール状となった水とともに下方に流れ落ち、自らの浄化作用を発揮
  - 撥水効果および自浄作用により、微生物繁殖（藻類、カビ、菌類）および霉害のリスクを減少
- 呼吸が可能で湿度を調整
  - 木材の気孔を開いた状態で保つことができるため、呼吸を行うことができ、最適な湿度調整を保証
- クリーム構造
- 基材深くまで浸透
- 少ない使用量
- あらゆる縦張りの木材表面への塗布が容易に可能（横張りの木材に対しては、その効果が発揮不可能）
- 他の塗料や木材処理製品に比べ、各部分や面への塗布が容易に可能（液だれがなく、マスキング・テープが不要で、天井にも容易に塗布可能）
- ご希望の仕上がりに応じて1回塗りまたは2回塗りでの塗布が可能

› 技術的特徴

備考
木材の気孔を開いた状態で保つことができるため、木材が呼吸を行え、最適な湿度調整が保証されます。
ルビオ ウッドクリームは撥水性かつ自浄作用を持つため、微生物繁殖（藻類、カビ、菌類）のリスクを低減します。

- 化学主成分：ワックスベース
- 物理的状態：クリーム状
- 比重：950～1,050g/L（透明 - 有色）
- pH：8.0～9.0
- 引火点：>100℃
- 発火点：>200℃
- 光沢：セミマット
- 乾燥時間：約12時間
- 2回目は3時間後以降に塗布が可能
- パール効果は塗装後3時間から作用

**› 販売サイズ**

30ml / 100ml / 1L

**› 使用量**

12～20 $m^2$/L

上記の使用量は目安です。木材の種類や下地の調整具合によって使用量は異なります。正確な使用量が把握できるよう毎回サンプルを作成されることをおすすめします。

**› 保管**

本製品は最大24カ月まで保管することができます。乾燥条件下でご購入時の容器のまま保管してください。また、凍結する環境は避けて保管してください。

**› 廃棄**

空容器は、本製品をお使いになる地域の条例に従って処分してください。

## 塗布についての情報

### › 現場での塗布

使用範囲：

- 屋外の木材 - 垂直面の木材への塗布
- 木材の水分量（含水率）：最大18%
- EN 335-1、適用クラス2および3に準拠した、接地のない木材部位
- 寸法安定性のない建築部材：フェンス、骨組み、カーポート、羽目板等
- 寸法安定性の限られている建築部材：シャッター、形状つきボード、物置等

### › 下地の調整

- 塗布温度：10℃～30℃
- 木材が乾燥しており汚れのないことを確認してください。
- 木材に過度の汚れ、オイル、またはかび汚れが付着している場合は、水にエクステリアウッドクリーナーを10%の割合で混ぜて木材のクリーニングを行ってください。エクステリアウッドクリーナーのご使用後は、水で完全に洗い流してから本製品を塗布してください。

*ご使用前に添付のテクニカルデータシートをご参照ください。*

### › 塗装方法

**A.** 新品木材の場合

**ステップ1.** #120までのサンドペーパーで木材表面をご希望の仕上がりになるよう、下地処理を行います。サンディングを粗くすると製品の密着性と性能が向上します。

**ステップ2.** 木材表面の木くずを除去するために、表面を細かい霧状の水で濡らします。水にエクステリアウッドクリーナーを10%の割合で混ぜて木材のクリーニングを行ってください。エクステリアウッドクリーナーのご使用後は、水で完全に洗い流してから本製品を塗布してください。ご使用前にエクステリアウッドクリーナーのテクニカルデータシート（TDS）をご参照ください。

**ステップ3.** ウッドクリームを塗布前によく攪拌します。木材表面を古材風や透明な外観に仕上げる場合、ウッドクリームソフナーで希釈しよく攪拌します。

**ステップ4.** 刷毛を用いて、丁寧かつ均等に塗布します。板材3～4枚の範囲内で作業し、前に塗布した部分が乾く前に次の塗布を行ってください。刷毛を用いて本製品を一度で塗り広げます。その後12時間乾燥させます。1回塗りのみ行う場合は、ステップ4までの作業で終了です。

**ステップ5.** より色合いを強くする（塗りつぶし）場合は、3時間以上経過した後、24時間以内に2回目を塗布します。その際ウッドクリームの過剰な蓄積を避けるために、25%から最大50%のウッドクリームソフナーで希釈し、塗布します。

- 1回目が既に撥水加工されているため、2回目は1回目の時のように容易には付着しません。そのため、刷毛を用いて本製品を1回目の上に滑らかな動きで広げる作業を繰り返し行うことをおすすめします。

ウッドクリームソフナーで希釈する場合

- 粗挽きの非常に多孔質または乾燥した木材（<14%）の場合：最大1:1の比率で希釈します。
- 熟成した効果またはより透明な外観をお求め場合：最大1:1の比率で希釈します。

備考

- 新品の木材を**古材風**に仕上げるには、**グレー色**の中から1色を選び、ウッドクリームソフナーで希釈します。
- より**透明感のある仕上がり**をご希望の場合は、ウッドクリームをウッドクリームソフナーで**希釈**します。ご希望の仕上がりになるまで、ウッドクリームソフナーを加えます。割合は最大で1: 1です。
- **無着色仕上げ**の場合は、**トランスペアレントを**お使いください。このタイプは紫外線を除去しないため、木材を保護し撥水性を与えながら自然に時を重ねることができます。

**B.** ウッドクリームの補修／再生を行う場合

**ステップ1.** 低圧の水と柔らかいブラシを用いて表面のクリーニングを行います。木工用サンドペーパーでの研磨は不要です。

**ステップ2.** 使用前にウッドクリームをよく撹拌します。ウッドクリームとウッドクリームソフナーを9:1の割合で希釈し、よく撹拌します。ご希望の仕上がりになるよう、この割合は最大で1:1まで調整が可能です。

**ステップ3.** 刷毛を用いて、丁寧かつ均等に塗布します。板材3～4枚の範囲内で作業し、前に塗布した部分が乾く前に次の塗布を行ってください。刷毛を用いて本製品を一度で塗り広げます。

**C.** ルビオ以外の製品が塗られた古い木材を修復する場合

**ステップ1.** 以前の塗装が剥がれ風化したものや木の繊維を取り除き、木工用サンドペーパー（#120まで）で表面を研磨します。サンディングを粗くするとウッドクリームの密着性と性能が向上します。

- 既存の塗装の状態が非常に悪い場合、完全に木材が剥き出しになるまで除去してください。

**ステップ2.** 木材表面に過度の汚れ、オイル、またはかび汚れが付着している場合は、水にエクステリアウッドクリーナーを10%の割合で混合し木材のクリーニングを行ってください。エクステリアウッドクリーナーのご使用後は、水で完全に洗い流し、乾燥後本製品を塗布してください。ご使用前にエクステリアウッドクリーナーのテクニカルデータシート（TDS）をご参照ください。

**ステップ3.** 使用前にウッドクリームを撹拌します。その後、20～50%のウッドクリームソフナーを混合し、よく撹拌します。刷毛を用いて丁寧かつ均等に塗布します。板材3～4枚の範囲内で作業し、前に塗布した部分が乾く前に次の塗布を行ってください。刷毛を用いて本製品を一度で塗り広げます。

**ステップ4.** 1回目の塗装後、乾燥時間が3時間経過した後、24時間以内に2回目を塗布します。古い塗装膜を残した状態で1回目を塗装した場合、木材と塗装膜が残った部分とで光沢に差が生じることを防ぐために塗布します。

- 1回目が既に撥水加工されているため、2回目は1回目の時のように容易には付着しません。そのため、刷毛を用いて本製品を1回目の上に滑らかな動きで広げる作業を繰り返し行うことをおすすめします。

**ステップ5.** 表面を12時間乾燥させます。

› メンテナンス情報

通常は、年に一度冬季を過ぎた後に目視での点検をおすすめしております。

以下の3点がないかご確認ください。

a. 汚れや緑色の堆積物：低圧の水と柔らかいブラシで除去してください。
b. 色褪せ
c. パール効果の低下

必要に応じて（上記 b および c の場合）、指示に従いメンテナンスとしての塗布を行ってください。メンテナンスの頻度は、気象条件によって異なります。

- 通常の気象条件の場合：5年ごと
- 過酷な気象条件の場合：3年ごと
- 理想的な環境の場合、この期間は最長10年と大きく延ばすことができます。

通常の気候：色褪せがある場合は、ウッドクリームとウッドクリームソフナーを9:1の割合で混ぜたものをメンテナンスとして塗布します。この割合はご希望の仕上がりになるよう最大で1:1の割合まで調整が可能です。詳細はテクニカルデータシート（TDS）をご参照ください。

頻度は、処理を行った木材の曝露の度合い、地理的状況、太陽の向き、ならびに木材の種類やご希望の色調によって異なります。水辺や海沿い、降雪地帯、湿地帯ではより高い頻度でのメンテナンスが必要となる場合があります.

### › メンテナンスについての指示

**ステップ1** 水にエクステリアウッドクリーナーを10%の割合で混ぜたものを用いて木材のクリーニングを行います。エクステリアウッドクリーナーをお使いになった後は、低圧の水と柔らかいブラシで表面をきれいにしてください。木工用サンドペーパーでの研磨は不要です。ご使用の前にエクステリアウッドクリーナーのテクニカルデータシート（TDS）をご参照ください。

**ステップ2** ウッドクリームをよく混ぜ、ウッドクリームとウッドクリームソフナーを9:1の割合で混ぜて希釈します。この割合はご希望の仕上がりになるよう最大で1:1の割合まで調整可能です。

**ステップ3** 刷毛を用いて、これを垂直面に木材の方向に沿って丁寧かつ均等に塗布します。板材3～4枚の範囲内で、木材繊維の方向に沿って作業します。前に塗布した部分が乾く前に次の塗布を行ってください。刷毛を用いて本製品を一度で広げます。

### › 使用上の注意

- 表面に直射日光が当たらないようにしてください。
- 高温（30℃を超える）の場合や日陰がない場合は、製品が塗布しやすく、また時間をかけて乾くように、ウッドクリームをウッドクリームソフナーで希釈することを推奨します。
- 木材表面が粗く吸収力が非常に高い場合は、ウッドクリームが表面に塗布しやすくなるようウッドクリームをウッドクリームソフナーで希釈することを推奨します。ウッドクリームの色合いをより強くする場合は、2回目を塗布してください。

詳細はパッケージおよび安全データシート（SDS）をご確認ください。
屋内用および屋外用木材の保護・着色製品の全ラインナップにつきましては、https://www.nissin-ex.co.jp/rubiomonocoat/ に掲載している製品カタログをご覧ください。

**免責事項：**選定された用途に本製品が適しているか否かについて、独自にテストを行い判定する責任はユーザーが有します。株式会社ニッシンイクスは、本製品の使用により生じた損害に対し一切の責任を負いかねます。また、本製品の品質とは関連のない原因による意に満たない結果に対し一切の責任を負いかねます。
**テクニカルデータシート（TDS）発行日：2018/6/19**
**製品をお使いになる前に製品安全シート（SDS）をご確認ください。**
こちらのテクニカルデータシートは、ルビオモノコート社が発行するテクニカルデータシートを元に作成しています。ルビオモノコート社が発行するものとは異なりますのでご了承ください。

Rubio MONOCOAT

お問い合わせ先

株式会社ニッシンイクス
ルビオモノコート事業グループ
rubiomonocoat@nissin-ex.co.jp

TEL：0834-36-1700
FAX：0834-36-1711

https://www.nissin-ex.co.jp/rubiomonocoat/